

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立生駒小学校 ）



「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立生駒南小学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和3年10月26日～11月12日

実施内容

「南小ブックフェスタ 2021」

① 図書委員がつくった「図書室クイズ」に挑戦！

1学期の終わり頃から委員会の時間に準備。低学年・中学年・高学年の3種類、本に関わるクイズを図書委員が作成。全問正解者にはしおりのプレゼント。

② 「先生たちおすすめの本 2021」

今年で5回目の企画。先生方に1冊ずつおすすめの本を選んでもらい、POPを作成してもらう。子どもたちが普段手に取らない本が目立つ機会。

③ あなたのおすすめの本を紹介して「みんなの本棚」をつくろう！

子どもたちにおすすめの本のカードを書いてもらう。参加した子どもにはしおりのプレゼント。今年は5時間目の前の「南小タイム」に、司書が選んだ紹介を放送委員が放送で読んでくれた。紹介カードは、図書室前の廊下に掲示。図書室だよりでも今後紹介する予定。

④ 図書委員特製「本の福BOOKろ」

図書委員がテーマに沿って選んだ本を、2冊ずつ袋に詰め、POPを書いて福袋にして貸出。



児童生徒の様子

今年は上記のイベントに加えて、ブックフェスタ期間中「2～6年生は3冊貸出」を実施した。放送で案内したときには、イベントよりも「3冊貸出」の方に子どもたちは反応して喜んでいました。図書室クイズや「みんなの本棚」にも楽しんで参加する姿があった。福袋も楽しんでいて、すべて貸し出された。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

新しく入った本に興味をもち、学習まんがから読み物へ興味がうつっていく子どもいた。教師も毎年おすすめの本を1冊選び、POPを丁寧に書いている。「今年はこの本にしようかな」と大事に本を選ぶ姿がある。「おすすめの本を放送で紹介したい」という提案も放送委員会の子どもの方からあり、初めて実施できた。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立生駒北小学校 ）



<p>実施日 及び 実施期間</p>	<p>令和3年10月29日（金）～11月12日（金）</p>
<p>実施内容</p>	<p>「北小読書週間2021」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室に、読書週間に合わせて新しい本のコーナーを作り、新たな本との出会いの場としました(→)。 期間中は、2冊貸出を行いました。 ・1～3年には、図書時間に新しい本の読み聞かせや紹介をしました。 ◆2年生「おはなし会」（生駒市図書館北分館より） ◆3年生「図書館見学」（生駒市図書館本館） ◆4年生「ブックトーク」（生駒市図書館北分館より） ブックトークの本を借りて学級文庫にしました。 ◆2・5年生「おすすめの本」（←） 掲示板に、2年生と5年生のおすすめの本の紹介カードを掲示しました。図書室には、その本のコーナーを作りました。   
<p>児童生徒の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は、初めての読書週間の2冊貸出に大喜びでした。 ・2・4年生は、図書館員によるおはなし会やブックトークがあり、新しい経験ができて新しい本との出会いもありました(→)。 ・3年生は、社会見学で図書館に行きました。図書館について説明を聞いて館内を見学、実際に本を借りました。 ・6年生は期間中に修学旅行があり、それに向けて図書室の本を使って調べ学習を行いました。  
<p>取組後の変容 (子ども・家庭・教師)</p>	<p>各学年それぞれの取組で、本との新たな出会いになりました。 1年生は「読書の秋」という言葉を覚えました。</p>
<p>備考 (2学期中に 実施する取組)</p>	<p>◆図書委員会「図書室クイズ」 本を借りた子に回答用紙を配布して、図書室の本棚に掲示している文字を順番に並べてできる言葉を答えてもらいます。 正解者には、図書委員作成のしおりをプレゼントします。</p> 

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒台小学校 ）



「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立生駒東小学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和3年10月29日～11月9日

実施内容

1学期同様、コロナ感染対策のため児童が読み聞かせは行うことができませんでした。1人2冊の貸出を継続しています。図書室の利用を増やすために、お家の方が子どもの頃、どんな本を読んでいたのか、低学年の児童にアンケートを行い、集計し人気だった本のコーナーを設置しました。また子どもたちにどんな本を読みたいか、希望アンケートを実施しようと考えています。12月には図書給食もあるので、本の紹介・放送も予定しています。

1年生対象

図書の時間に校長先生・教頭先生による読み聞かせを行いました。



紙芝居

「おひゃくしょうと えんまさま」



紙芝居

「はしのうえの おおかみ」

児童生徒の様子

・お家の方が好きだった本のコーナーは、子どもたちも興味があり展示した本は借りていることが多かったです。校長先生や教頭先生が読んでくださる紙芝居には、お話の世界に入り込んだように、集中して聞いていました。

取組後の変容

(子ども・家庭・教師)

・休み時間になると遊びに行く前に図書室へ行き、本の貸し借りを行ってから、外へ行くことも多くなってきました。
・友だち同士で、どんな本を借りたのか、どんなところが面白かったのかについて話していることが多くなったように感じます。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立真弓小学校 ）



「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立俵口小学校 ）



「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立鹿ノ台小学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和3年10月28日（木）～ 11月9日（火）

実施内容

「教師による朝の読み聞かせ」

10月28日（木）の読書タイムでは、先生が、担任するクラス以外の学級で読み聞かせをしました。担任以外の先生が読む本にみんな興味津々でした。選書は学校図書館司書さんをお願いしました。



「読書スタンプラリー」

図書委員がイラストを描いたスタンプカードを作り、図書室で本を借りたらスタンプを押すイベントをしました。スタンプがたまったら手作りのシールやしおりのプレゼントを渡しました。



「リモートビブリオバトル」

11月9日（火）の朝の読書タイムに、図書委員がリモートビブリオバトルをしました。3人のバトルが「おかあさん、げんきですか。」「うんちレストラン」「わんぱくだんのゆきまつり」の本の紹介をし、その後で、全校児童がタブレットの投票フォームを使って自分が読みたくなった本を投票しました。



児童生徒の様子

- ・教師による読み聞かせは、いつもと違う先生が読んでくれることに喜んでいました。高学年も絵本を読んでもらうことを喜んでいました。
- ・スタンプラリーをしている間、図書室に来室する児童が増えました。
- ・リモートビブリオバトルは熱心に画面を見て聞いていました。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

- ・図書室に来る児童が増えました。
- ・ビブリオバトルで紹介された本を探しに図書室に来る児童がいました。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立桜ヶ丘小学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和3年10月28日（木）～11月19日（金）

実施内容



「読書の秋キャンペーン2021」

◆「読書の秋キャンペーン」

- ・読書の秋にちなんで、自分の好きな本やおすすめの本を、本の紹介カードに書いてもらう取組です。全校児童分のカードが集まると、図書室前の掲示板に掲示します。今年の紹介カードは、紅葉する葉です(←)。
- ・図書室には、読書週間に合わせて新しい本のコーナーを作り、新たな本との出会いの場としました。期間中は、2冊貸出を行いました。
- ・1～3年には、図書の時間に新しい本の読み聞かせや紹介をしました。

◆「ビブリオバトル」(→)

生駒市図書館職員と学校司書がバトラーと
なって、4年生の各
教室でビブリオバ
トルを行いました。



児童生徒の様子

- ・全校児童が、自分の好きな本やおすすめの本を書きました。高学年は、あらすじや好きなところなどをカードいっぱい書いていました。
- ・(←)新しい本のコーナーは、机の上に本を平置きしています。本が目に入りやすく手に取りやすいので、その場で読む子もいました。
- ・ビブリオバトルでは、4人のバトラーの話を集めて聞いて、質問もたくさん出ました。紹介した本を各クラスの学級文庫にすると、早速、休み時間に本に集まっていました。

取組後の変容

(子ども・家庭・教師)



- ・ビブリオバトルで紹介された本を学級文庫で読むだけでなく、図書室で借りたり、続編まで借りる子もいました。ビブリオバトルがテーマになった本を借りる子もいました。

- ・「読書の秋キャンペーン」の本の紹介カードの掲示ができると、廊下を通る時に自分や兄弟姉妹、友だちのカードを見つけて読んでいました(←)。



「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立あすか野小学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和3年10月27日～11月19日

実施内容

「校内読書週間～たくさんの本と出会おう～」



「魔女も登場！！」

各学年のクラスでシャッフルして、担任の先生以外の先生がクラスで読み聞かせをしました。

②図書委員会の取組み

図書委員が4年生から6年生のクラスに行き、図書室に入れてほしい本のリクエストを募集しました。

③図書ビンゴ実施中

たくさんの本を読んでほしいという思いから、図書の時間に2年生が図書ビンゴに取り組んでいます。

①学校全体の取組み

10月28日（木）の全校朝会で、校長先生より、アメリカ大リーグで活躍している大谷翔平選手が読書好きであることを紹介し、読書のすばらしさや本との出会いを大切にしてほしいとお話がありました。

児童生徒の様子

校長先生の話聞いて、読書の大切さをクラスでも話し合いました。ぼくもたくさん本を読もう！という声があちらこちらで聞こえてきました。

担任以外の先生がクラスにやってきて本を読んでもらったことが、子どもたちは大変うれしかったようで、「おもしろかった！」と感想を言い合っていました。

取組後の変容

(子ども・家庭・教師)

読み聞かせの後、読んでもらった本の続きを図書室に探しに來たり、ほかのクラスの子に「この本おもしろいよ！」と勧めたりと、子どもたちの本への関心が高まっていると思います。

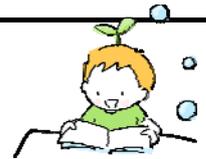
「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立壺分小学校 ）



実施日 及び 実施期間	令和3年11月1日～11月30日
実施内容	<p>「子どもの読書意欲を高める取組」</p> <p>① 本の2冊貸し出し 11月1日から11月30日までの1か月間、子ども一人につき、本の2冊貸し出しを行いました。いつもよりもたくさん本を借りられる機会をつくることで、子どもたちの読書意欲を高めるねらいがあります。ポスターも制作し、本を2冊貸し出すことを宣伝しました。</p> <p>② 「いちぶっこ～すきな本の虹～」づくり 1学期にすきな本のアンケートを実施しました。一人に1枚ずつ小さめの画用紙を配布し、自分のすきな本の名前を書いてもらいました。その際、学年ごとに画用紙の色を変え、色ごとに壁一面に掲示することで、図書室前の廊下に「すきな本の虹」ができました。</p>  A photograph of a large, colorful rainbow made of children's drawings. The rainbow is composed of many small, overlapping rectangular pieces of paper, each with a different color and some text written on it. The colors transition from blue on the left to red on the right, with green, yellow, and purple in between. A sign at the top left of the rainbow reads "いちぶっこ ~すきな本の虹~".
児童の様子	子どもたちは、アンケートを書いている時に、友達とすきな本が一緒になると嬉しそうにしていました。また、図書室前を通った際には、壁に掲示しているカラフルな虹を見て喜んでいる様子でした。
取組後の変容	図書室前の虹を見て「自分もこの本を読みたい。」と意欲的になる児童が多く見られました。大きな虹のインパクトがあることもよかったようですが、学年ごとに色が違うことで、自分の学年で人気がある本がわかりやすかったようです。本の2冊貸し出しとも併せ、さらなる読書意欲の向上が期待できます。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立生駒南第二小学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和3年10月26日～11月12日

実施内容

「いろいろなジャンルにチャレンジ！」

読書でビンゴ

ふだん読まないジャンルの本にも読書の幅を広げること、本を探す手がかりとなる日本十進分類法（NDC）の認識を目的として、背ラベルの数字やコーナー名を使った9マスのビンゴゲーム（希望者のみ）

- ① 本を読み、ビンゴの用紙に読書記録を記入（背ラベル・タイトル・感想）
- ② 司書や図書委員が、本と記入事項を確認して、読んだジャンルのマスにスタンプを押す

- ③ たて・よこ・ななめ、3つスタンプが並べばビンゴ

図書委員による放送と昇降口の掲示で案内、図書の授業でやり方を説明

用紙は通年の読書記録の手帳に貼り付け、学期ごとに表彰する読書冊数に加える



児童生徒の様子

初日の放送を聞いて、チャレンジする子はいたものの数は少なく、後の授業で説明を聞いて、チャレンジする子が増えた。先に始めだした子が、やり方がわからない子に教える姿が見られた。

オリエンテーションで、毎年各学年に「どこにどんな本があるのかわかるように案内図や棚に札をつけているよ。背ラベルの数字は本の住所のようなものだから、これを札の数字と照らし合わせれば、本を戻す場所がわかるよ」と説明しているが、ふだんそのことを意識して本を探していない様子。説明しても、ビンゴにするための本をどうやって探せばいいのかわからず、尋ねる子も多かった。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

意欲的に取り組んでいたのは、おもに3年生やいつも図書室に来る子たち。普段本をあまり読まない子にも興味がわくようゲーム要素を取り入れたものの、全体的に参加者が少なかったことが残念。(特に高学年は時期的に行事の準備等と重なり、余裕がなかった様子) 先生方にも一緒に参加してもらうなど、盛り上げるための工夫が今後の課題である。